



2024年度決算

市の財政状況をお知らせします



▲市ホームページ



2024年度の豊岡市は「次への一步・DXと共創のまちづくり」を予算の基本方針としました。市民の暮らしを支えるため、物価高騰への対策を速やかに実施したほか、DX推進と共創のまちづくりに向けた事業(公共施設予約システム導入や自分ごと化会議など)や福祉・子育て・教育支援について重点的に取り組みました。特に、0歳から小学3年生までの医療費無料化の継続や、医療的ケア施設等への補助金創設、校内サポート支援員の配置など、未来を担う世代への事業を強化しました。

《問合せ》財政課 ☎21-9014

《一般会計決算》

歳入		歳出	
509億6,707万円		493億3,881万円	
地方公共団体が一定水準の行政サービスを行えるよう国から交付されるお金 180億3,365万円(35.3%)	地方交付税	子育て支援や高齢者福祉、障害福祉、医療費助成など 153億4,656万円(31.1%)	民生費
特定の事業に対して国・県から交付されるお金 99億8,546万円(19.6%)	国県支出金	市庁舎の管理や税金、住民票交付の事務など 89億4,930万円(18.1%)	総務費
市民税、固定資産税、軽自動車税など 96億5,873万円(19%)	市税	借入金返済費 56億6,333万円(11.5%)	公債費
市の借入金 23億6,500万円(4.6%)	市債	道路・河川整備、都市計画、公営住宅など 52億5,454万円(10.6%)	土木費
地方消費税の税収の一部を市町村に交付されるお金 19億9,374万円(3.9%)	地方消費税交付金	ごみ処理施設負担金、健康診査、豊岡病院負担金など 48億2,961万円(9.8%)	衛生費
譲与税・交付金、寄付金、財産収入、繰入金、繰越金など 89億3,049万円(17.6%)	その他	学校教育・社会教育・文化振興など 43億4,211万円(8.8%)	教育費
		農林水産業費、消防費、商工費など 49億5,336万円(10.1%)	その他

《会計別決算額一覧》

区分	歳入	歳出	歳入歳出差引
一般会計	509億6,707万円	493億3,881万円	16億2,826万円
特別会計	209億284万円	202億7,769万円	6億2,515万円
国民健康保険事業(事業勘定)	84億8,822万円	84億2,003万円	6,819万円
国民健康保険事業(直診勘定)	7,931万円	7,224万円	707万円
後期高齢者医療事業	15億535万円	14億6,638万円	3,897万円
介護保険事業	103億9,494万円	99億2,312万円	4億7,182万円
診療所事業	3億844万円	2億8,653万円	2,191万円
霊苑事業	1,402万円	874万円	528万円
管理会財産区	200万円	6万円	194万円
太陽光発電事業	1億1,056万円	1億59万円	997万円
公営企業会計	77億6,523万円	68億8,230万円	8億8,293万円
水道事業	25億5,748万円	21億5,766万円	3億9,982万円
下水道事業	52億775万円	47億2,464万円	4億8,311万円
合計	796億3,514万円	764億9,880万円	31億3,634万円

【一般会計】

実質収支は13億円

一般会計の決算は、歳入が510億円、歳出が493億円でした。歳入には、2025年度への繰り越し事業の財源4億円が含まれているため、これを差し引き、実質収支は13億円となりました。

歳入では、地方交付税が最も多く180億円でした。次いで国県支出金が100億円、市税が97億円と続きます。なお、市税は定額減税により減収となりましたが、その減収分は地方特例交付金で全額措置されています。

歳出では、民生費が最も多く153億円でした。次いで総務費が89億円、公債費が57億円と続きます。

また、市民1人あたりの歳出額は66万1千円、納税額は12万9千円でした。

市債残高は、359億円、対前年度比32億円の減になり、市民1人当たり48万1千円、対前年度比3万3千円の減となりました。

【特別会計・公営企業会計】

特別会計の実質収支は6億円

特別会計の決算は8会計の総額で、歳入が209億円、歳出が203億円で、実質収支は6億円となりました。

公営企業会計の決算は水道事業が4億円、下水道事業が5億円の黒字でした。